



平成21年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：平成22年2月23日（火）～24日（水）
 場 所：京都大学宇治キャンパス（宇治市五ヶ庄）
 JR 奈良線黄檗駅から徒歩約5分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約6分

○平成22年2月23日（火）

所長挨拶 きはだホール（宇治おうばくプラザ）…………… 9：30～ 9：35
 特別講演 きはだホール（宇治おうばくプラザ）…………… 9：35～ 11：25
 災害調査報告 きはだホール（宇治おうばくプラザ）…………… 11：40～ 14：10
 一般講演 …………… 14：30～ 18：15
 ポスターセッション …………… 9：30～ 18：15

○平成22年2月24日（水）

一般講演 …………… 9：00～ 12：00
 ポスターセッション …………… 9：00～ 15：00
 ポスターセッションコアタイム …………… 12：00～ 14：00
 一般講演 …………… 14：00～ 16：15
 ゲスト講演 きはだホール（宇治おうばくプラザ）…………… 16：30～ 17：30

一般講演会場

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)
23日（火） 14:30～18:15	大気・水 (I)	GCOE-ARS	地震・火山 (I)	地盤 (I)	GCOE-HSE	ポスター セッション (時間は上記)
24日（水） 9:00～12:00	大気・水 (II)	大気・水 (III)	地震・火山 (II)	地盤 (II)	総合防災 (I)	
24日（水） 14:00～16:15		大気・水 (IV)	地震・火山 (III)	地震・火山 (IV)	総合防災 (II)	

A 会場…… きはだホール（宇治おうばくプラザ）
 B 会場…… セミナー室 1+2（宇治おうばくプラザ）
 C 会場…… セミナー室 4+5（宇治おうばくプラザ）
 D 会場…… 所長室 E-320D（防災研究所本館）
 E 会場…… セミナー室 III E-517D（防災研究所本館）

平成 22 年 2 月 23 日 (火) 〈於：きはだホール〉

9:30 所長挨拶 所長 岡田 憲夫

特 別 講 演 9:35～11:25

9:35 漂砂流砂系における地形変化災害 — とくに海岸侵食研究の展望
Complex Fluid-Sediment Interactions in Coastal Systems: An Overview

教授 関口 秀雄

10:30 地震波動論の歴史と地震防災

A Review of Development of Theoretical Study of Seismic Waves with the Intent Toward
Earthquake Hazard Reduction in Japan

教授 川崎 一郎

11:25 (休憩)

災害調査報告 11:40～14:10

11:40 2009年台湾における台風 Morakot による水・土砂災害

Flood and Sediment Disasters by Typhoon Morakot in Taiwan in 2009

教授 藤田 正治

12:00 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨による防府市土砂災害

Debris Flow Disaster in Hofu City Induced by the July 2009 Heavy Rainstorm in
Chugoku-Kyushu District, Japan

准教授 福岡 浩

12:20 (昼食)

13:30 2009年サモア諸島地震津波災害の被害と対応

Damage and Response of The 2009 Samoa Islands Earthquake Tsunami Disaster

助教 鈴木 進吾

- 13:50 2009年イタリア・ラクイラ地震（M6.3）— 中規模地震の被害と対応について —
The 2009 L'Aquila, Italy Earthquake (M6.3) – Damage and Response to a Moderate
Event –

教授 MORI, James Jiro

平成 22 年 2 月 24 日（水） 〈於：きはだホール〉

ゲスト講演 16:30～17:30

- 16:30 グリーン資本主義 — グローバル「危機」克服の条件
Green Capitalism – How to Overcome Global “ Crises ” –

京都大学名誉教授・立命館大学大学院政策科学研究科教授・
京都大学経済研究所特任教授 佐和 隆光

一 般 講 演

平成 22 年 2 月 23 日 (火)

14 : 30 ~ 18 : 15

大気・水 (I) (A 会場)

- 14:30 A01. 最新型偏波レーダーを用いた氷相降水粒子タイプの混在状態推定に関する研究
中北英一・○隅田康彦・山口弘誠・鈴木賢士・中川勝広・川村誠治
- 14:45 A02. 地形性降雨を考慮したレーダー短時間降雨予測へのエラーアンサンブルの導入
○中北英一・吉開朋弘・Sunmin KIM
- 15:00 A03. 気候モデルのバイアス検出・補正システムの開発
○田中賢治・中田淳子・小尻利治
- 15:15 A04. NOAA/AVHRR 陸面プロダクト PAL の経年劣化補正の一考察
○樋口篤志・栗田尚志・黒崎泰典・田中賢治
- 15:30 A05. ワジ洪水の移動通過損失量に関する経験モデルと水文学モデルの理論的
整合性評価
○浜口俊雄・Mohamed SABER・小尻利治
- 15:45 (休 憩)
- 16:00 A06. Flash Flooding Simulation Using Hydrological Modeling of Wadi Basins at Nile
River Based on Satellite Remote Sensing Data
○ Mohamed SABER・浜口俊雄・小尻利治・田中賢治

- 16:15 A07. 地表面水文過程に基づいた作物生長モデルの構築
○萬 和明・藤園順哉・立川康人・椎葉充晴
- 16:30 A08. 分布型流出モデルを用いた流域スケールでの水利用環境の評価
○平井基弘・野原大督・堀 智晴
- 16:45 A09. River Morphology and Sediment Management Strategies for Sustainable Reservoir in Japan and European Alps
○ Sameh A. KANTOUSH・Tetsuya SUMI
- 17:00 (休憩)
- 17:15 A10. 貯水ダムの生態系影響を軽減するための河床地形管理に関する研究
○竹門康弘・中井健太郎・角 哲也
- 17:30 A11. 河川生態系の不連続性によるダム貯水池分類と影響軽減のための貯水池管理に関する研究
○角 哲也・内藤淳也・竹門康弘
- 17:45 A12. 食物連鎖を考慮した鴨川の生態・水辺環境評価に関する研究
小尻利治・川口智哉・○鈴木淳史
- 18:00 A13. 鴨川チドリの動態と砂州地形との関連に関する一考察
○細田 尚・Alhinai SAIF・音田慎一郎・重光良太

GCOE-ARS (B会場)

- 14:30 B01. 温暖化影響を導入したノンパラメトリック水文頻度解析
○寶 馨・小林健一郎・山敷庸亮

- 14:45 B02. 気候変動が日本の河川流況に及ぼす影響の推定
○立川康人・滝野晶平・藤岡優子・椎葉充晴・萬 和明
- 15:00 B03. 琵琶湖統合水質モデルを用いた気候変動影響評価に関する研究
○山敷庸亮・寶 馨・中北英一
- 15:15 B04. Climate Change Impacts on Water Resources in Thailand Using 20-km AGCM Projections
○ P. B. HUNUKUMBURA・Yasuto TACHIKAWA・Michiharu SHIIBA
- 15:30 B05. 気候変動に伴う木曾三川流域の流況予測
○佐藤嘉展・道広有理・鈴木 靖・小尻利治
- 15:45 (休憩)
- 16:00 B06. アンサンブル予報に基づく気象災害軽減のための判断支援システムの試作
大塚成徳・○余田成男
- 16:15 B07. ダウンスケール実験による災害をもたらす気象の再現
石川裕彦
- 16:30 B08. 地球温暖化が全国の裸地斜面の凍結融解特性に与える影響評価
○泉山寛明・堤 大三・藤田正治
- 16:45 B09. 気候変動に伴う流域内の斜面崩壊危険度の変化
○大塩清太郎・藤田正治・堤 大三・竹林洋史

地震・火山 (I) (C会場)

- 14:30 C01. 面外補剛パネルの材質によるスリット入り鋼板ダンパーの力学性状の変化
○伊藤麻衣・坪山紀子・奈良悠子・日高桃子・中島正愛

- 14:45 C02. Cyclic Test of Unequally Slitted Steel Shear Walls
○ Andres JACOBSEN · Takuya OKAMURA · Toko HITAKA · Masayoshi NAKASHIMA
- 15:00 C03. 木質パネルによるせん断鋼板壁の面外補剛
○日高桃子 · 伊藤麻衣 · 坪山紀子 · 中島正愛
- 15:15 C04. Seismic Behavior of New Beam-Column Connections with Steel Fiber Reinforced Cementitious Composite Slab
○ Yao CUI · Toru TAI · Shuhai SONG · Toko HITAKA · Masayoshi NAKASHIMA
- 15:30 C05. 超高層建物の柱梁接合部性能と補強効果
○中島正愛 · 鍾 育霖 · 松宮智央 · 長江拓也 · 日高桃子
- 15:45 (休憩)
- 16:00 C06. 振動台の再現可能振動数帯域を拡げる振動台実験手法
○榎田竜太 · 紀 暁東 · 長江拓也 · 梶原浩一 · 中島正愛
- 16:15 C07. Seismic Capacity of High Rise Steel Buildings Under Long Duration Earthquakes
○ Dimitrios G. LIGNOS · Yulin CHUNG · Masayoshi NAKASHIMA
- 16:30 C08. Seismic Capacity of Retrofitted Frame in Existing Steel High-Rise Buildings
○ Yulin CHUNG · Takuya NAGAE · Kouich KAJIWARA · Toko HITAKA · Masayoshi NAKASHIMA
- 16:45 C09. 地震災害時における免震化された病院建築の機能保持性能の検証
○古川 幸 · 佐藤栄児 · 紀 暁東 · 梶原浩一 · 中島正愛
- 17:00 (休憩)
- 17:15 C10. Identification of Story Damper Coefficient for Passive Damping System
○ Feng ZHAO · Masayoshi NAKASHIMA

- 17:30 C11. 反重力すべり支承（UPSS）による橋梁の地震時応答制御
○五十嵐晃・高橋天平・足立幸郎・宇野裕恵・佐藤知明
- 17:45 C12. 動的応答定量的評価のための縮小RC模型16体一斉加振実験
○高橋良和・小林 望
- 18:00 C13. 複合災害予測システムの開発
○山田真澄・樋本圭佑・向坊恭介

地盤（I）（D会場）

- 14:30 D01. 土石流観測40年
諏訪 浩
- 14:45 D02. 静岡県由比地すべり背後にある巨大山体変形
千木良雅弘
- 15:00 D03. Landslide Induced by the Typhoon Morakot in Shiaolin Village, Taiwan
○ Chingying TSOU・Masahiro CHIGIRA
- 15:15 D04. 台湾南西部におけるバッドランド地形の形成過程
○樋口衡平・千木良雅弘
- 15:30 D05. 結晶片岩地すべり地における尾根からの地下水流動の観測例Ⅱ
○末峯 章・日浦啓全・王 功輝・能野一美
- 15:45 (休憩)
- 16:00 D06. 圧力融解を考慮した岩盤不連続面のせん断強度回復と摩擦ヒーリングに関する研究
○岸田 潔・川口雄大・安原英明・中島伸一郎

- 16:15 D07. 自然由来の重金属等を含有する土砂の環境影響評価について
乾 徹・出島 茜・片山真理子・○勝見 武
- 16:30 D08. 地形地質情報に基づく電子地盤図補間手法の提案
○三村 衛・吉田光宏・北田奈緒子
- 16:45 D09. 大変形理論に基づく砂質盛土の動的変形挙動に関する有効応力解析
○上田恭平・井合 進・飛田哲男
- 17:00 (休憩)
- 17:15 D10. 2009年防府市真尾土石流災害の歴史的背景
釜井俊孝
- 17:30 D11. 中国三峡ダム貯水池における樹坪地すべりの最近五年間の観測結果と意義
○汪 発武・霍 志涛・張 業明
- 17:45 D12. バイオマットフローの流出特性と流域流出に及ぼす影響
Pan XUAN
- 18:00 D13. Experimental Study on the Ecological Slope Protection with Aqueous Polymer Soil Stabilizers
○ Jin LIU・Bin SHI・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI

GCOE-HSE (E会場)

- 14:30 E01. 生活リスクの中の洪水リスク軽減：ムンバイからの知見
○ Hirokazu TATANO・Samaddar SUBHAJYOTI

- 14:45 E02. 韓国地域自律防災団を対象とした三段階システム技法による災害シミュレーション
○羅 貞一・岡田憲夫
- 15:00 E03. マクロ経済への長期的影響に関する一考察：復興時の資金調達に着目して
○中野一慶・多々納裕一
- 15:15 E04. 災害シミュレーションと連動した避難計画作成支援システムの開発
○Michinori HATAYAMA・Hirokazu TATANO・Seitaro YUKAWA・
Atsushi EDAHIRO
- 15:45 (休憩)
- 16:00 E05. Assessment of Japanese and Chinese Flood Control Policies
○Pingping LUO・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI
- 16:15 E06. Impact Assessment of IOD/ENSO in the Asian Region
○Netrananda SAHU・Yosuke YAMASHIKI・Kaoru TAKARA
- 16:30 E07. Hydrological Simulations in Red River Basin Using Super High Resolution GCM Outputs with Geostatistical Processes
○Mukta SAPKOTA・Toshio HAMAGUCHI・Yoshinobu SATO・
Toshiharu KOJIRI
- 16:45 E08. ネパール・ヒマラヤの地形が氷河の融解と氷河湖拡大に与える影響に関する研究
○大泉 伝・山敷庸亮・寶 馨
- 17:00 E09. Routing Debris Flow with Limestone
○Mohd Remy Rozainy M.A.Z・Yosuke YAMASHIKI・Kaoru TAKARA・Cao W.
- 17:15 E10. 海上埋立による地盤挙動の相互作用に関する数値解析
○田 炳坤・三村 衛

一 般 講 演
平成 22 年 2 月 24 日 (水)
9 : 00 ~ 12 : 00

大気・水(Ⅱ) (A会場)

- 9:00 A14. 成層圏でのプラネタリー波の反射と関連する帯状風構造
○向川 均・佐治憲介・小寺邦彦
- 9:15 A15. 週間アンサンブル予報データを用いたブロッキング形成期の予測可能性評価
○竹村和人・向川 均
- 9:30 A16. 大気輸送モデルを用いた逆転法により推定された二酸化炭素フラックスの近年の変動
井口敬雄
- 9:45 A17. 中立に近い大気境界層における組織的乱流構造 — 気象研究所気象観測鉄塔での観測例 —
○堀口光章・林 泰一・足立アホロ・小野木 茂
- 10:00 A18. 2009年美作市・館林市・土浦市で発生した竜巻による建築物の被害について
○奥田泰雄・喜々津仁密
- 10:15 (休 憩)
- 10:30 A19. 3次元正四角柱の後流の流れ場の構造について
○河井宏允・奥田泰雄・大橋征幹

- 10:45 A20. 数値的に生成された竜巻状の渦の性質
丸山 敬
- 11:00 A21. 詳細地形表現による局地豪雨の 100 m メッシュ高解像度計算
竹見哲也
- 11:15 A22. 北西太平洋上におけるメソ対流系の併合と熱帯低気圧の発生
○吉田龍二・石川裕彦
- 11:30 A23. 2009年台風18号のレーダーデータ同化実験
○辰己賢一・竹見哲也・石川裕彦
- 11:45 A24. 将来の極端台風の複数経路計算による可能最大被害予測
○奥 勇一郎・吉野 純・石川裕彦・竹見哲也・中北英一

大気・水(Ⅲ) (B会場)

- 9:00 B10. Freshwater-Saline Water Interactions in Unconfined Coastal Aquifers
○ Kriyo SAMBODHO・Hideo SEKIGUCHI・Ryoukei AZUMA
- 9:15 B11. 河川流出が東京湾の水域環境に及ぼす影響について
○鈴木 靖・佐藤嘉展・道広有理
- 9:30 B12. 二方向流下での孤立砂丘の発達に関する水槽実験
○谷口圭輔・遠藤徳孝・関口秀雄
- 9:45 B13. 大瀉海岸における海底地形変化と堆積物収支
○東 良慶・関口秀雄
- 10:00 B14. フラップゲート式可動防波堤の波浪・津波応答に関する模型実験
○木村雄一郎・新里英幸・仲保京一・安田誠宏・間瀬 肇

- 10:15 (休憩)
- 10:30 B15. 高耐波安定性消波ブロックの開発および性能照査に関する実験的研究
○安田誠宏・間瀬 肇・高橋真弘・松下紘資・徳永誠之
- 10:45 B16. 2009年台風18号による田辺湾の海面混合について
○森 信人・鈴木崇之・木原直人
- 11:00 B17. 3次元海洋モデルにおける波応力の扱いと高潮予測結果への影響
森 信人・○高田理絵・間瀬 肇・安田誠宏
- 11:15 B18. 非定常気象・海象条件下における吹送流・海浜流予測モデルの開発と現地への適用
間瀬 肇・○作中淳一郎・安田誠宏・森 信人・金 洙列・馬場康之
- 11:30 B19. 洋上風力発電用ハイブリッドスパーの1/10モデルによる実海域実験
○宇都宮智昭・箕浦慎太郎・松熊秀和・高 清彦・浜村英樹・小林 修・
佐藤 郁・野本禎久・安井賢太郎
- 11:45 B20. 洋上ウインドファームサイトにおける毎時予測波浪の統計的特性の推定
間瀬 肇・○紺野晶裕・Tracey H. TOM・安田誠宏・森 信人

地震・火山(Ⅱ)(C会場)

- 9:00 C14. 稠密地震観測データを用いた長野県西部地域の震源分布と地震波速度構造
○土井一生・野田俊太・飯尾能久・堀内茂木・関口渉次
- 9:15 C15. 山崎断層帯の深部構造と地震発生特性の調査研究(続き)
○西上欽也・澁谷拓郎・片尾 浩・吉川幸佑・山口 寛・儘田 豊

- 9:30 C16. 雑微動の自己相関関数の減衰定数の時間変化
○大見士朗・平原和朗
- 9:45 C17. 近畿地方中北部における臨時地震観測 2
飯尾能久・片尾 浩・○三浦 勉・中尾節郎・米田 格・藤田安良・近藤和男・
西村和浩・澤田麻沙代・多田光宏・平野憲雄・山崎友也・富阪和秀・辰己賢一・
加茂正人・澁谷拓郎・大見士朗・加納靖之
- 10:00 C18. 宮崎観測所における測地観測
○大谷文夫・寺石眞弘・園田保美・藤田安良・大志万直人
- 10:15 (休憩)
- 10:30 C19. 境界・領域法 (BDM) による自発的な断層破壊解析
○後藤浩之・Leonardo RAMIREZ-GUZMAN・Jacobó BIELAK
- 10:45 C20. Next Generation of Global Satellite Gravity Field: Mathematical Theory and Potential
Environmental Applications
Peiliang XU
- 11:00 C21. 兵庫県南部地震はなぜ起こったのか?
飯尾能久
- 11:15 C22. 下部地殻と上部地殻の変形・破壊の相互作用の解明をめざしたアナログ実験
○柳谷 俊・三井雄太
- 11:30 C23. 方位異方的地球の自由振動の定式化と地球内部構造への応用可能性
川崎一朗

地盤(Ⅱ)(D会場)

- 9:00 D14. 遠心力载荷装置を用いたハイブリッド地震応答実験手法の開発
○小寺雅子・高橋良和
- 9:15 D15. 遠心载荷実験に基づく液状化地盤における杭剛性が免震構造物の応答に及ぼす影響
○肥田剛典・田村修次
- 9:30 D16. Experimental and FE Analysis of Seismic Soil-Pile-Superstructure Interaction in Sand
○Mahmoud N. HUSSEIN・Tetsuo TOBITA・Susumu IAI
- 9:45 D17. 遠心载荷実験における地盤と直接基礎建物の動的相互作用
○田村修次・足立圭佑・時松孝次
- 10:00 D18. Assessing the Uplift Displacement of Buried Geotechnical Structures in Liquefied Ground
○GiChun KANG・Tetsuo TOBITA・Susumu IAI
- 10:15 (休憩)
- 10:30 D19. 四川大地震により発生した天然ダムに関する調査研究
○王 功輝・釜井俊孝・千木良雅弘・黄 潤秋
- 10:45 D20. 波動干渉法を利用した微動観測に基づく宇治キャンパスの浅層地盤構造の推定
○廣川貴則・川瀬 博・松島信一
- 11:00 D21. SAR 干渉解析による地震前後の地盤変動抽出
○齊藤隆志・松波孝治・福島 洋

- 11:15 D22. 震源近傍におけるトランポリン効果に対する数値解析
○飛田哲男・井合 進・岩田知孝
- 11:30 D23. 直下型地震時緩斜面における大規模地すべりの発生・運動機構
○丸井英明・王 功輝・福岡 浩・釜井俊孝・宮城豊彦・千葉則行・劉 飛
- 11:45 D24. Susceptibility Assessment of Landslides in a Tectonically Active Mountainous Environment by Logistical Regression Analysis
○ Fanyu ZHANG・Wenwu CHEN・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI

総合防災（I）（E会場）

- 9:00 E11. 洪水による被害推定手法の高度化に関する研究
○小林健一郎・寶 馨
- 9:15 E12. Development of Flood Exposure Map Considering Dynamics of Urban Life
○ Yuling LIU・Norio OKADA・Dayong SHEN・Yoshio KAJITANI
- 9:30 E13. Application of Index Flood Based Regional Frequency Analysis in Nepalese River Basins
○ Binaya Kumar MISHRA・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI・
Yasuto TACHIKAWA
- 9:45 E14. 強震動予測のための内陸地殻内の長大断層で発生する地震規模予測
松島信一
- 10:00 E15. 地震災害の統合的被害予測手法の開発に向けた検討
○樋本圭佑・向坊恭介・山田真澄

10:15 (休憩)

10:30 E16. 微動観測による構造物の耐震補強前後の振動特性とその耐震性評価 — 宇治
キャンパス本館を対象に

○宝音 暁・川瀬 博・松島 信一

10:45 E17. 火災中の木造建物の倒壊予測モデルの開発

○向坊 恭介・樋本 圭佑・田中 哮義

11:00 E18. 地震火災に対する大都市の防火性能評価手法の開発

○西野 智研・樋本 圭佑・向坊 恭介・円谷 信一・田中 哮義

一 般 講 演
平成22年2月24日(水)
14:00～16:15

大気・水(Ⅳ) (B会場)

- 14:00 B21. 地形発達過程と流域地形則との関係に関する研究
中北英一・○杉谷祐二
- 14:15 B22. 京都盆地地下水水質の空間特性と経年変化特性の解析
○ Batuer ABUDOUREYIMU・Yoshinobu KIDO・Shingo AWADSU・
Eiichi NAKAKITA
- 14:30 B23. 広域分布型流出浸水一体型予測モデルの開発
○佐山敬洋・深見和彦・寶 馨・竹内邦良
- 14:45 B24. Seepage and Slope Stability Analysis of Landslide Dam
○ Ram Krishna REGMI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・
Yasuyuki BABA・Hao ZHANG
- 15:00 B25. Outburst of Glacial Lake Due to Moraine Dam Failure by Seepage Flow and
Overtopping with Impact of Climate Change
○ Badri Bhakta SHRESTHA・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・
Yasuyuki BABA・Hao ZHANG・Ripendra AWAL
- 15:15 B26. 山地流域における音響法を用いた流砂量観測
○堤 大三・平澤良輔・水山高久・志田正雄・藤田正治

- 15:30 B27. Morphological Changes Induced by River Training Structures: Bandal-Like Structures and Groins
○ Hiroshi TERAGUCHI · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Yasuyuki BABA · Hao ZHANG
- 15:45 B28. Inundation Flow Considering Overflow Due to Water Level Rise by River Structures
○ Dongkeun LEE · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Yasuyuki BABA · Hao ZHANG
- 16:00 B29. Hydraulic and Morphological Consequences of Bank Protection Measures Along the Jamuna River, Bangladesh
○ Hao ZHANG · Hajime NAKAGAWA · Yasuyuki BABA · Kenji KAWAIKE · Md.Munsur RAHMAN · M.Nazim UDDIN

地震・火山(Ⅲ) (C会場)

- 14:00 C24. 強震記録を用いた震源破壊過程と震源断層幾何形状の同時推定
○浅野公之・岩田知孝
- 14:15 C25. 強震動予測のためのスラブ内地震の不均質震源モデルの特性化
○岩田知孝・浅野公之
- 14:30 C26. コーダ波を用いた震源パラメータの推定とスケーリング
○染井一寛・浅野公之・岩田知孝
- 14:45 C27. 等価震源距離に基づくディレクティビティ効果を考慮した距離減衰式
○王寺秀介・澤田純男・岩田知孝
- 15:00 C28. 2007年新潟県中越沖地震の震源域における強震動シミュレーション
○新田祐平・川瀬 博・松島信一

- 15:15 C29. 地震波形インバージョンによる大阪堆積盆地の3次元基盤面形状推定
○岩城麻子・岩田知孝
- 15:30 C30. KiK-net 一関西観測点における強震時および弱震時の表層地盤の震動特性
○木村美帆・浅野公之・岩田知孝
- 15:45 C31. インドネシア・パダン市の地盤構造について
○清野純史・小野祐輔・久保正彰

地震・火山(Ⅳ) (D会場)

- 14:00 D25. 桜島火山の地震学的構造と反復地震探査について
○筒井智樹・為栗 健・井口正人・桜島火山人工地震探査グループ
- 14:15 D26. 桜島火山の3次元P波速度構造と震源再決定
○為栗 健・井口正人
- 14:30 D27. 無人ヘリによる火山観測：桜島における地震計設置の試み
○大湊隆雄・金子隆之・小山崇夫・安田 敦・武尾 実・渡邊篤志・本多嘉明・
梶原康司・神田 径・井口正人・柳澤孝寿
- 14:45 D28. 水準測量による桜島火山の地盤変動(2007年—2009年)
○山本圭吾・園田忠臣・高山鐵朗・市川信夫・大倉敬宏・吉川 慎・井上寛之・
松島 健・内田和也
- 15:00 D29. 桜島火山歴史時代噴火の開始条件に関する岩石学的制約
○中村美千彦・伊藤嘉紀・田村 翔・井口正人・味喜大介
- 15:15 D30. 桜島昭和火口噴火の規模について
○井口正人・横尾亮彦・為栗 健

- 15:30 D31. 大規模カルデラ噴火の先駆現象に関する地質科学的総合研究
○小林哲夫・奥野 充・長岡信治・宮縁育夫・井口正人・味喜大介
- 15:45 D32. 口永良部島火山の火山ガス組成の変遷
○篠原宏志・平林順一・野上健治・井口正人
- 16:00 D33. 口永良部島における二酸化硫黄放出量の変動
○森 健彦・風早康平・大和田道子・平林順一・多田光宏・為栗 健・井口正人・
篠原宏志

総合防災（Ⅱ）（E会場）

- 14:00 E19. 防災研究のアウトリーチと正統的周辺参加理論
矢守克也
- 14:15 E20. Analyzing Urban Ritual in the Context of Developing Social Capital for Disaster Resilience; A Case Study of Kishiwada
○Roshan Bhakta BHANDARI・Hitoshi IKEO・Muneta YOKOMATSU・
Norio OKADA
- 14:30 E21. 首都直下地震後のすまいの再建シミュレーションに向けての試み
牧 紀男
- 14:45 E22. 発展途上国における持続的な学校防災教育を実現するための基礎的研究
○城下英行・矢守克也
- 15:00 E23. まちづくりと防災—親和性と異質性の考察
岡田憲夫
- 15:15 E24. 災害時における雨水利用の経済価値に関する一考察
○遠藤 格・横松宗太・岡田憲夫

15:30 E25. 災害時の“Opportunity-based Learning”とマクロ経済動学

○横松宗太・石倉智樹

15:45 E26. 国際CGEモデルによる港湾被災の波及効果分析

○多々納裕一・船瀬悠太

ポスターセッション

平成 22 年 2 月 23 日 (火) 9:30 ~ 18:15

平成 22 年 2 月 24 日 (水) 9:00 ~ 15:00

ポスターセッションコアタイム

平成 22 年 2 月 24 日 (水) 12:00 ~ 14:00

- P01. 兵庫県南部地震時の工業用水供給停止による受水企業への影響評価
○ 楢田泰子・武市 淳
- P02. 引張破壊を導入した土構成モデルを用いた盛土の地震応答解析
○ 澤田純男・中田光彦・後藤浩之
- P03. 地震動予測結果の妥当性評価への地震動エネルギーの適用
○ 平井俊之・澤田純男
- P04. Characteristics of Strong Ground Motions Originated in Sumatra Determined Using Peak Ground Acceleration and Velocity: A Case Study for Malaysia
○ Sherliza Zaini SOORIA・Sumio SAWADA・Hiroyuki GOTO
- P05. 拡張有限要素法 (X-FEM) を用いた自発的な断層破壊の数値解析手法の開発
○ 和田一範・後藤浩之
- P06. 荒砥沢ダム湖上流における巨大移動山塊の地震応答
○ 松波孝治・森井 互・齊藤隆志・福岡 浩・粕倉克幹・川辺孝幸・大場武雄
- P07. 地震波干渉法による西日本の地殻速度構造 (1) — 表面波群速度の推定 —
○ 山下佳穂里・浅野公之・岩田知孝
- P08. 初動押し引きから直接精細な応力分布を求める試み
片尾 浩

- P09. 紀伊半島でのリニアアレイ地震観測とレーザー関数イメージング
○澁谷拓郎・中尾節郎・西村和浩・澤田麻沙代
- P10. 山崎断層帯周辺の地殻不均質構造と地震活動特性
○吉川幸佑・西上欽也
- P11. 山崎断層での地震およびハイドロフォン観測
○加納靖之・MORI, James Jiro・澁谷拓郎・中尾節郎・西村和浩・澤田麻沙代
- P12. 北陸及び近畿地方の b 値について
○竹内文朗・澁谷拓郎・松村一男・岡本拓夫
- P13. 福井県鯖江市付近に認められる低地震活動域とそのテクトニクス
岡本拓夫・○平野憲雄・西上欽也・竹内文朗・和田博夫
- P14. GEONET の 1-Hz データで見た地震の変位波形
○中村悠希・橋本 学・宮崎真一
- P15. ALOS/PALSAR で捕らえた世界の大地震：2009 年
橋本 学
- P16. 歪地震記録に含まれる地球自由振動帯域のノイズ
森井 互
- P17. 70 年振りに発見された 19 世紀のレボイル・パシユウイツ傾斜計の復元
○園田保美・大谷文夫・寺石眞弘・MORI, James Jiro・竹本修三・大野照文・塩瀬隆之
- P18. 西南日本背弧での海域・陸域 MT 観測
○大志万直人・吉村令慧・中尾節郎・南 拓人・山口 覚・藤 浩明・笠谷貴史・
塩崎一郎・下泉政志・村上英記・上嶋 誠
- P19. 日向灘地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測
○寺石眞弘・大谷文夫・園田保美・大志万直人

- P20. Network-MT 長基線データによる九州地方での広域比抵抗構造の推定
 ○畑 真紀・大志万直人・吉村令慧・田中良和・上嶋 誠・
 九州地域 Network-MT 研究グループ
- P21. 近畿北部における比抵抗構造調査
 ○吉村令慧・大志万直人・藤田安良
- P22. 地震波によって励起される応力磁気効果の見積もりと早期地震警報への応用の可能性
 山崎健一
- P23. 始良カルデラにおける電磁気構造調査 (序報)
 ○神田 径・園田忠臣・宇津木充・井上寛之・八木原寛・笠谷貴史・市原 寛・
 Bulent TANK・Tulay KAYA・小川康雄・橋本武志・小山崇夫
- P24. 桜島火山における噴出物に基づく噴火活動のモニタリング
 ○嶋野岳人・横尾亮彦・井口正人
- P25. 地表温度および自然電位分布からみた口永良部島火山熱水系の考察
 ○松島喜雄・横尾亮彦・神田 径
- P26. Seismicity around Guntur Volcano and its Surroundings, West Java, Indonesia
 ○ Sukir MARYANTO・Masato IGUCHI・Takahiro OHKURA・Muhamad HENDRASTO・
 Sri HIDAYATI・Agoes LOEGMAN・Yasa SUPARMAN・Surono
- P27. 途上国での極端気象条件下における土砂災害の発生事例
 ○福岡 浩・Yang HONG・Peng CUI・Dwikorita KARNAWATI・Ogbonnaya IGWE
- P28. はんれい岩の初期風化に対する岩石組織の影響
 ○児平哲彦・千木良雅弘
- P29. Variability of the Soil Water Regime with Depth: an Example from a Small Watershed
 Daniel W. WOLDIE
- P30. 土石流の規模拡大機構の実証実験
 ○岡田康彦・福岡 浩

- P31. 和歌山県田辺湾口における気象海象観測（2007年—2009年）
○鈴木崇之・久保輝広・武藤裕則
- P32. 大潟海岸における海底面形状および底質に関する現地観測
○馬場康之・内山 清・関口秀雄・中川 一
- P33. 大潟海岸の海底コア解析
○山口直文・関口秀雄・東 良慶・吉村 悠
- P34. 観測棧橋近傍の海底地形と海底底質の粒度組成
内山 清
- P35. 水没した自動車からの避難の難しさ
馬場康之・石垣泰輔・○戸田圭一
- P36. Appropriate Land Use Regulation for Mitigation in Sediment Hazard-Prone Area
○ Tingyeh WU・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI
- P37. Study on Sediment Management in an Active Volcanic Area
○ Jazaul IKHSAN・Masaharu FUJITA・Hiroshi TAKEBAYASHI
- P38. Spatially-Distributed Sediment Budget Modeling for Investment Prioritization in Sediment Control of Ungauged Catchment: A Case Study in Indonesia
○ APIP・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI
- P39. Flow and Bank Erosion Characteristics of Sesayap River in Indonesia
○ Puji HARSANTO・Masaharu FUJITA・Hiroshi TAKEBAYASHI
- P40. 農業排水路に設置した水制による砂州の創出と流水に与える影響
○向井章恵・藤田正治・竹林洋史
- P41. 全球気圧高度分布を考慮した渇水時貯水池操作
岡田知也・○野原大督・堀 智晴

- P42. Roles of Riffle and Pool Structures in POM Dynamics in the Downstream Reaches of Dam Reservoirs
○ Giyoung OCK · Yasuhiro TAKEMON · Yasunori MUTO · Tetsuya SUMI
- P43. 京都盆地水系における表流水 — 地下水間の水・物質収支に関する観測調査
○城戸由能・粟津進吾・鳥井宏之・中北英一
- P44. Influence of the Ane River Basin on Dissolved Oxygen Concentration of Lake Biwa
○ Pedro Luiz Borges CHAFFE · Yosuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA · Masato KATO
- P45. 上下流域における生活者参加型の水辺環境マネジメント
河野真典・野原大督・○堀 智晴・萩原良巳・萩原清子
- P46. 多層キャノピーモデルを用いた冷温帯落葉広葉樹林における熱収支の推定
○中田淳子・田中賢治・小尻利治・玉川一郎・里村雄彦
- P47. CMIP3 マルチ気候モデルにおける日本の気候の再現性比較
○道広有理・佐藤嘉展・鈴木 靖
- P48. Reproducibility of AGCM20 Precipitation Output and Its Dependence on Topography
○ Sunmin KIM · Eiichi NAKAKITA
- P49. 気候変動がもたらすさまざまな時間スケールにおける極端降雨の将来変化
○木島梨沙子・中北英一
- P50. 偏波レーダーを用いた降水粒子タイプ情報のデータ同化手法の開発(Ⅱ)
○山口弘誠・中北英一
- P51. Using Distributed Precipitation in TOPMODEL Approach for Large-Scale Basins
○ Roberto Valmir da SILVA · Yosuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA

